

『このたたかいが終わったら』

作詩：覚 和歌子

A .. このたたかいが終わったら

友だちをさそって弁当を持って

町でいちばん高い山にのぼろう

はればれと見下ろす

生まれたばかりの町の

とどろく産声を聞こう

渡部 .. おしまいまでやりとげた充実で

胸をいっぱいにしよう

B .. このたたかいが終わったら

力強く誇ろう

まだだれも見ぬ地平線を描くという

難しいほうの道を選んだこと

失ったものより残されたものに

こころをそそぐと決めたこと

渡部.. あえぎながら歩いても

小さな花を見のがさず

ありがとうと声をかけたこと

C
.. このたたかいが終わったら

大きな声でうたおう

消えいる心を支えてくれた歌

そして それよりもっと大きな声で

これでもかと泣こう

渡部.. 胸をしばっていたかなしみを空に放して

新しい日々を抱きとめよう

遠い国でまだ続く

いくつものたたかいから目をそらさずに